

2026年 5月20日

京成電鉄株式会社

## 安全・安定輸送の追求と、人と環境に優しい鉄道へ

# 2026年度 鉄道事業設備投資計画

### 昨年度実績比216億円(+62%)増の総額566億円

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:天野 貴夫)では、2026年度、鉄道事業で総額566億円の設備投資を実施します。

お客様により安全・快適にご利用いただけるよう、鉄道施設の強靱化や、輸送障害等異常時における対応力強化、計画的な施設更新などの安全対策を強化します。また、バリアフリー化工事や駅施設のリニューアル、環境負荷の低減など、日々の暮らしに寄り添う、人と環境に優しい取り組みを実施します。さらに、成田空港の更なる機能強化への対応のため、宗吾車両基地における新工場建設工事や新型有料特急の車両製作を進めるほか、スカイライナーおよび新型有料特急専用の成田スカイアクセス新線整備(複々線化)、成田空港周辺(成田湯川駅～成田空港駅)の単線区間の複線化、空港駅機能の改善に向けた計画の検討を進めます。

本件の詳細は、次頁の通りです。

#### <概要>

##### (1)安全・安心

- 駅ホームの改修、駅舎等の耐震補強工事や法面補強工事などの安全対策を進めます。
- 押上線葛飾区内(四ツ木駅～青砥駅間)の連続立体交差事業や京成本線荒川橋梁架替工事を進めます。
- 運行管理装置や電力管理装置、日暮里変電所や二和変電所など、鉄道施設の更新・改良を進めます。

##### (2)日々の暮らし

- ホームドアの整備やスロープ等の設置など、バリアフリー化を進めます。
- 京成佐倉駅や松戸駅など、駅施設のリニューアルを進めます。
- 3200形を新たに7編成(42両)導入します。

##### (3)空港輸送

- 宗吾車両基地における新工場建設工事を進めます。
- 新型有料特急の2028年度の運行開始に向けて車両製作を進めます。
- スカイライナーおよび新型有料特急専用の成田スカイアクセス新線整備(複々線化)、成田空港周辺(成田湯川駅～成田空港駅)の単線区間の複線化、空港駅機能の改善に向けた計画の検討を進めます。

# 2026年度 鉄道事業設備投資計画について

## 1. 投資額

566億円（昨年度実績比 +216億円(+62%)）

## 2. 主な取組み

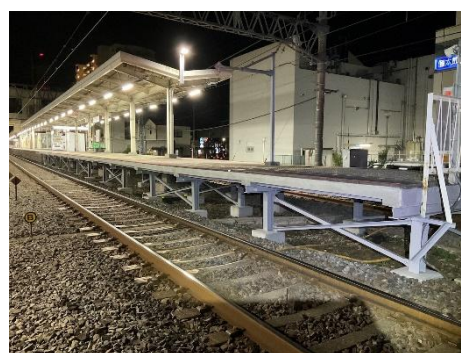


### (1)安全・安心

#### ① 駅の安全対策の強化

##### ● 駅ホームの改修

駅ホームにおける老朽化対策の一環として実施している、宗吾参道駅の改修工事が今年度に完了します。また、京成成田駅、京成関屋駅の改修工事に着手します。



▲駅ホーム改修工事イメージ

（京成佐倉駅ホーム 2023 年度実施）

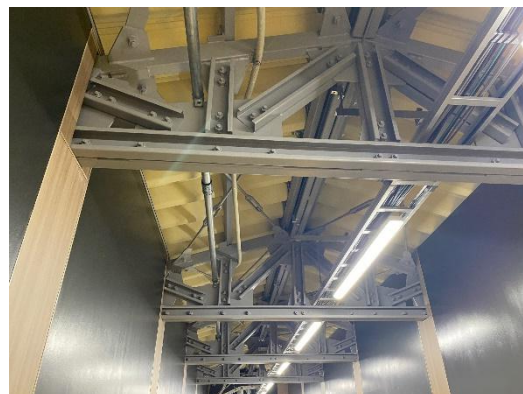
#### ② 耐震補強工事

大規模地震への対策として、京成小岩駅、京成千葉駅のホーム上家耐震補強工事が今年度に完了するほか、船橋競馬場駅及び京成津田沼駅のホーム上家耐震補強工事に着手します。また、大佐倉駅及びみどり台駅の駅舎及びホーム上家耐震化工事や千葉寺～ちはら台駅間の高架橋柱等の耐震化に引き続き取り組みます。



▲ホーム上家耐震補強工事イメージ

（京成大和田駅 2025 年度実施）



▲跨線橋耐震補強工事イメージ

（新千葉駅 2025 年度実施）

### ③ 法面補強工事

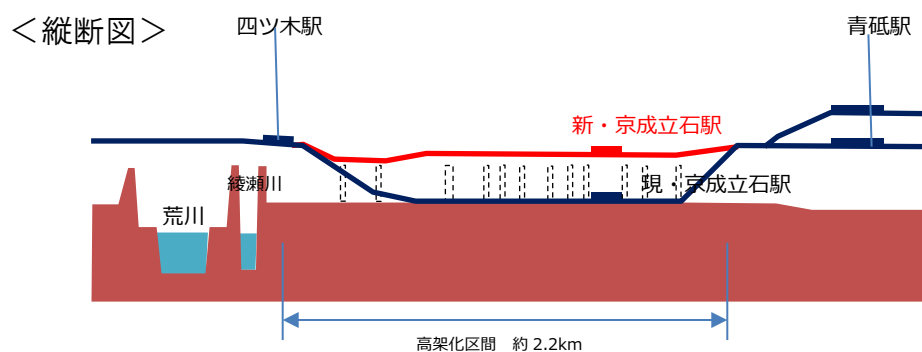
集中豪雨などにより法面（線路脇斜面）の土砂が流出することを防ぐため、京成成田駅～空港第2ビル駅間の法面補強工事が今年度に完了します。また、公津の杜駅～京成成田駅間や京成佐倉駅～大佐倉駅間の法面補強工事を推進します。



▲法面補強工事イメージ(谷津駅～京成津田沼駅間 2023年度実施)

### ④ 連続立体交差事業の推進

押上線葛飾区内(四ツ木駅～青砥駅間)の連続立体交差事業について、仮上り線工事を進めます。この事業が完了すると、平和橋通りなどの沿線にある11カ所の踏切が廃止され、道路・鉄道それぞれの安全性が向上するほか、踏切による交通渋滞が解消します。これに伴い、これまで鉄道により分断されていた市街地の一体化を図ることができ、魅力あるまちづくりが推進されます。



### ⑤ 京成本線荒川橋梁架替工事の推進

沿線地域防災への取り組みとして、国の荒川下流特定構造物改築事業である京成本線荒川橋梁架替工事を事業完了に向け引き続き推進します。



<新橋設置時のイメージ>

## ⑥ 鉄道施設の更新・改良

安全性の維持・向上のため、各種鉄道施設の計画的な更新・改修工事を実施します。

列車の集中制御を担う運行管理装置や変電所を電力指令から遠隔制御する電力管理装置の全面的な更新を推進します。

また、安定的な電力供給を図るために実施していた日暮里変電所や二和変電所の設備更新が今年度に完了するほか、青砥駅において駅の転てつ機と信号機を安全に連動させる装置の更新が今年度に完了します。さらに、線路の下に撒く碎石の厚みを増す工事や、軌道変位が生じにくいマクラギ(ラダーマクラギ)への交換を推進し、乗り心地の改善を図るとともに、自動券売機および自動改札機等の駅務機器について更新を実施します。このほか、千住第1架道橋における防護柵落下事象を踏まえた、同種構造の防護柵の対策工事が今年度に完了します。

### (2) 日々の暮らし



京成電鉄では、2024年3月より「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用し、ホームドアをはじめとしたバリアフリー設備の整備を推進しております。すべてのお客様へ更に安全・安心・快適にご利用いただける鉄道を目指します。

#### ① 駅のバリアフリー化

駅ホームからの転落や列車との接触による事故を防止するため、堀切菖蒲園駅、青砥駅、京成高砂駅、八広駅、市川真間駅、鬼越駅、京成中山駅、船橋競馬場駅のホームドアの設置を引き続き推進します。また、京成佐倉駅北口のエレベーターの整備、京成稲毛駅下りホームのバリアフリースイールの整備に着手します。さらに、大佐倉駅について、スロープやバリアフリースイールの整備を推進します。このほか、ホームと車両床面の段差・隙間縮小のため、新津田沼駅上りホームの改修が今年度に完了するほか、北習志野駅ホームの改修に着手します。



▲ホームドア設置イメージ

(押上駅 2023年度実施)



▲スロープ設置イメージ

(新千葉駅 2025年度実施)



▲エレベーター設置イメージ

(大森台駅 2025年度実施)

## ② 駅施設のリニューアル工事

松戸駅の工事が今年度に完了するほか、京成稲毛駅、みどり台駅、京成佐倉駅の工事を引き続き推進します。



▲ 駅リニューアルイメージ

(新千葉駅 2025年度実施)



▲ 松戸駅リニューアルイメージ

## ③ Skyliner e-ticket Face Check in Goの販路拡大に向けたシステム改修

更なる利便性の追求のため、AI顔認証乗車サービス「Skyliner e-ticket Face Check in Go」の販路拡大に向けたシステムの改修を実施します。

## ④ 磁気乗車券からQRコードを使用した乗車券への置き換えに伴う駅務機器の更新

駅務機器の更新を実施するとともに、鉄道サービスの持続的な提供を実現するため、より環境にやさしい用紙への置き換えやお客様サービスの向上を目的に、磁気乗車券からQRコード※を使用した乗車券への置き換えを今年度末以降、順次実施します。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標

## ⑤ 駅照明のLED化

更なる環境負荷の低減を図るため、引き続き各駅構内のLED化工事を推進します。

## ⑥ 3200形車両の追加導入

3200形について、新たに7編成(42両)導入いたします。



▲ 3200形車両



### (3) 空港輸送

#### ① 成田空港の機能強化に合わせた空港アクセスの強化

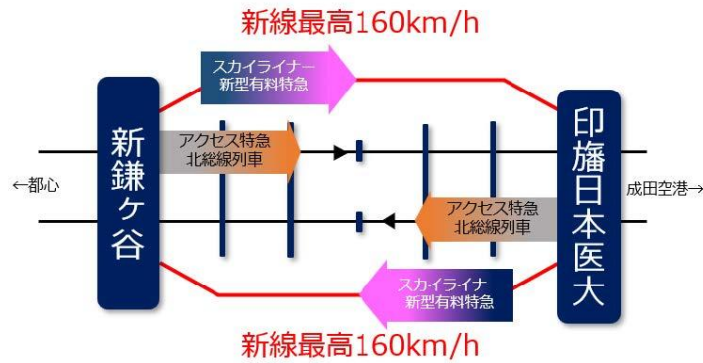
成田空港の更なる機能強化への対応のため、宗吾車両基地拡充工事計画における新工場建設工事を推進します。また、押上駅と成田空港駅を結ぶ新型有料特急については、2028年度の運行開始に向けて車両製作を推進します。さらに、スカイライナーおよび新型有料特急専用の成田スカイアクセス新線整備(複々線化)、成田空港周辺(成田湯川駅～成田空港駅)の単線区間の複線化、空港駅機能の改善に向けた計画の検討を進めます。



▲新工場完成のイメージ



▲新型有料特急 車両外観イメージ



▲新線整備(複々線化)区間 計画案

以上